

個人質問

教育環境の充実と安心な道路づくり

誠和会

中田 眞司



道路問題について

問 事故多発交差点である立野地区吉野宅付近の交差点改良を望むが如何か。

市長

答 指摘の交差点は、交差角度が悪く、また、樹木やトタン塀があり、車両が見づらいことから、事故が多く発生していると考えられます。交差点改良を実施するには、地権者のご理解と多額な予算が必要となることから、早期に交差点改良を実施することは難しい状況ですが、限られた予算の中で交差点の安全な通行を確保するため、来年度に立体減速シートを設置する工事を予定しています。

教育問題について

問 食は命を支える源であり、食育の推進は重要な課題であると考えますが、学校給食におけるこれからの食育について伺う。

教育長

答 学校における食育について

答は、給食の時間はもとより、各教科や道徳、総合的な学習の時間といった学校生活全体を通して指導しています。特に、学校給食は、子どもたちにとって望ましい食事の手本として、食事のあり方・栄養のバランス・多彩な調理方法や味付けを紹介するとともに、配膳の仕方や食事のマナーを身につけ、食事の楽しさや感謝の心をはぐくむ生きた教材となっております。献立の食材に地場産を活用することによって、地域の特産物や食文化への理解を深めるとともに、食材の生産等に関わる人々への感謝の気持ちを育てるといった取り組みも行っています。さらに、家庭との連携を図るため、献立表や給食だよりを通じて、保護者にも食育の周知も行っています。

教育長

平成20年度のいじめの報告件数は259件で、その内訳は小学校94件、中学校165件でした。また、平成20年度の30日以上の長期欠席者の報告件数は、小学生120人、中学生211人でした。各学校では、教育相談体制を整えたり、生徒指導会議などを活用して、いじめや長期欠席者等の問題の解決に向けた組織的な対応ができるように努めています。また、中学校には、スクールカウンセラーを配置することにより、生徒の悩みに対応できるようにしています。

問

前年度のいじめ、長期欠席の報告件数と今後の防止解決に向けての考えを伺う。

- ◆ その他の質問
- ◆ 交進小学校入口付近の歩道整備について
- ◆ 更なるICT化について
- ◆ 特別支援学級の教室不足について
- ◆ 小中一貫教育について
- ◆ 新学習指導要領の周知について

個人質問

自治会の活性化、教育長の信条は！

誠和会

小高 良則



市民と行政の協働の推進について

問 市内公共施設の軽微な改修部分等について、ボランティアを募り、対応することはできないか伺う。

市長

答 市内公共施設の軽微な修繕は、小規模工事等契約希望者登録制度に登録されている市内業者に発注しており、成果を上げています。また、開発行為で帰属された公園については、地元自治会等に除草やごみ拾いなどの日常管理をお願いしており、一部の自治会では、市より材料を支給し、塗装していただいています。

産業の支援について

問 八街市総合計画の中に、企業支援があるが、コミュニケーションビジネスの普及促進について伺う。

市長

答 起業を考えている方に対する支援策として、各種制度

教育問題について

問 教育長の信条及び教育への取り組みについて伺う。

教育長

答 社会の多様な価値観の中、規範意識の低下、人との関わりを苦手とするなど義務教育の中で、「生き方」指導を展開する重要性を感じます。信条としては、「逃げるな、ひるむな、立ち向かえ」という生き方を指針として、あらゆる困難にも夢を抱き、勇気を持って生き抜く子どもたちを育てていきたいと考えています。

コミュニティの育成について

問 コミュニティ活動への支援、運営体制の強化について伺う。

市長

答 地域における市民の連携は、地域の安心を支える中心的な要素であり、地域の課題を解決するためのコミュニティ活動は、大変重要なものであると認識しています。同じ地域に住む市民の皆様の連携により、地域の活性化、地域力の向上が図れるよう、より一層支援に努めていきます。

- ◆ その他の質問
- ◆ 森の保全と創出について
- ◆ 八街十字路交差点改良について
- ◆ 安全に人、車両が通行できる道路づくりについて
- ◆ 平成22年度教育施策について
- ◆ 教育重点目標について